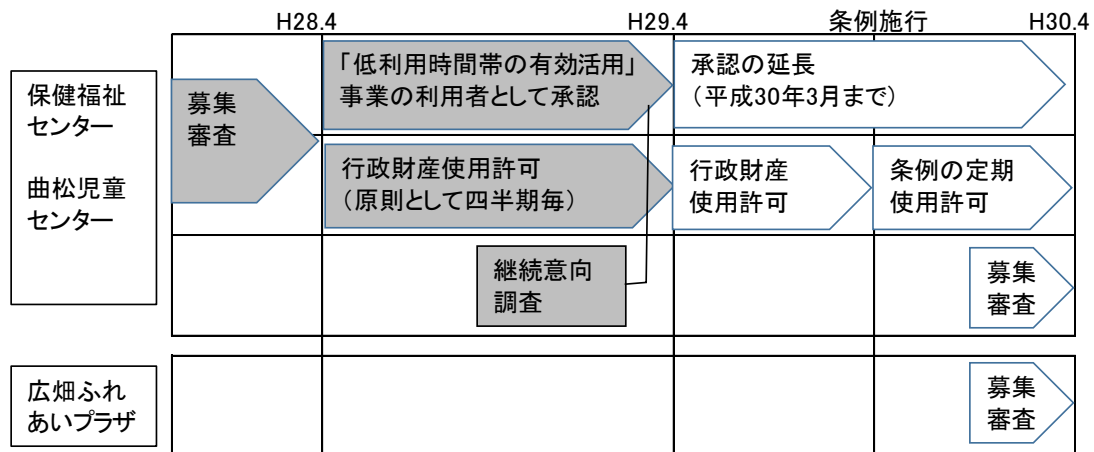


公共施設の利用者負担の適正化
条例施行に伴う平成 29 年度事業の実施について（案）

平成 29 年 2 月 7 日 公共施設マネジメント課

1 低利用時間帯の有効活用

- ・市民向けの教室や講座の開始は、年度に合わせることが市民の利便性という点で適切であることから、平成 29 年 4 月からも実施できるよう、条例の施行まで試行運用を継続する。
 ⇒現在の利用者（4 者）に平成 29 年度の意向を確認し、利用意向がある場合には、平成 30 年 3 月までの利用を承認する。



2 子ども無料化実証実験

- ・条例の施行が平成 29 年 7 月に間に合わない場合は、平成 29 年度夏期におけるプール等の無料化が実施できない。
 ⇒平成 27 年度・28 年度同様の「実証実験（試行）」扱いとして、使用料の免除規定により実施する。
 ⇒規則改正により対応
- ・条例で無料化する「高齢者」については、実証実験としては実施しない。